

家畜衛生だより



令和2年度第14号（鶏） 令和2年11月発行

南部家畜防疫協議会
（公社）千葉県畜産協会
千葉県南部家畜保健衛生所
〒296-0033 鴨川市八色52
電話 04(7092)2304
FAX 04(7092)1434

香川県で2例目の高病原性鳥インフルエンザ発生 東かがわ市・採卵鶏農場

1. 農場の概要

所在地：香川県東かがわ市

飼養状況：採卵鶏（約4万8千羽）

11/5 1例目
三豊市

11/8 2例目
東かがわ市



2. 経緯

- ・11/7（土）農場管理者から東部家保へ「死亡羽数の増加」の連絡
- ・家保が立入検査を行い、簡易検査で13羽中12羽（死亡鶏11羽中11羽、生存鶏2羽中1羽）の陽性を確認
- ・農研機構動物衛生研究部門（つくば市）で遺伝子検査を実施し、11/8にH5亜型の高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜と確認

国から派遣された「疫学調査チーム」による1例目発生農場の現地調査では、以下のことが確認されています。

●農場の周辺環境

- ・農場敷地の周囲に複数のため池があり、多数の水鳥類を確認。

●従業員の立入り時消毒状況

- ・農場専用の作業着と長靴を使用し、鶏舎ごとに手袋交換、踏込消毒を実施しているが、長靴交換は行っていない。

●飼養衛生管理

- ・鶏糞の一次集積場の防鳥ネット未設置。農場内堆肥置き場の防鳥ネット破損。
- ・車両消毒ゲートが農場外に設置されており、消毒後に一般道を通り入場。
- ・敷地内の消石灰散布は例年11月半ばに実施のため、まだ実施されてなかった。

●野鳥・野生動物対策

- ・集卵ベルトが鶏舎から外へ出る開口部を覆う金網に隙間あり。
- ・発生鶏舎内にネズミのものとと思われる糞あり。隣接鶏舎内にネズミ死体あり。

北海道の野鳥糞からのH5N8亜型HPAIウイルス分離及び香川県農場でのHPAI発生を受け、環境省は野鳥サーベイランス対応レベルを引き上げ、野鳥HPAIの監視を強化しています。

国内にウイルスが広がるリスクが高まっています。農場内・鶏舎内にウイルスを持ち込まないよう、別紙の「予防対策の重要ポイント」を参考に、①人・物・車両によるウイルスの持込防止、②野生動物対策の見直しをしましょう。

特に、周辺に野鳥が飛来する水辺がある農場は、野鳥飛来によるリスクを減らす取組を検討しましょう。

鶏舎周辺の池の対策など、詳しくは農林水産省HPをご覧ください <https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/tori/>

死亡率の急激な上昇（通常の2倍以上）や鳥インフルエンザを疑うような症状等、自農場の鶏に何か異常を感じたら、直ちに管轄の家畜保健衛生所までご連絡ください！

南部家畜保健衛生所 TEL 04-7092-2304 FAX 04-7092-1434

※休日、夜間は転送されますので必ず5回以上のコールをお願いします。